

第7回英語合宿の報告

日時:2015年12月31日～2016年1月1日

参加者:北辰館スクール通塾生(小5女子と中1女子の姉妹)とその両親

沼田理事長とその家族(妻と社会人の娘) 計7名

文と写真:沼田広慶

12月31日(木) 新白河駅に予定通り全員が集合。送迎バスでブリティッシュ・ヒルズを目指す。塾生の二人は初めての参加のため緊張気味だが、両親は英語ができないという割にはリラックスモードで家族旅行感覚。さて、近付くにつれて雪におおわれた白銀の世界に入る。バスを降りると、ハロー、ハローの歓迎ムード。そのまま全員がオリエンテーションへ。

今回の合宿はカウントダウンパーティーを楽しむのが狙いで、英語を学ぶというより、英国文化を楽しむのが主たる目的なので、保護者も皆一緒に行動することに。

この日はレッスンがないので、オリエンテーション後はそれぞれ部屋に入るとハリーポッターマントを着てすぐにマナーハウスに集合。私が皆に施設を案内。マナーハウスから喫茶店・食堂・ショップ等を歩き回ってから解散し、自由行動。



我々は雪のハイキングロードを歩いて展望台へ。白銀の大展望を楽しんでからお茶とケーキを楽しもうと店に入ると、示し合わせたように塾生家族もやってきて、どちらもアフタヌーンティーを楽しむ。

実は夕食前に **Haggis Parade** があることを今日初めて知らされたので、お茶が終わると一行はマナーハウスに集合した。**Haggis** とは羊や子牛の臓物をオートミールや脂肪などと混ぜてその胃袋に詰めて煮た料理ということで、スコットランドでは有名らしい。待つことしばし、突然バグパイプの演奏が始まり、独特の衣装に身を包んだ3人が行進してきた。バグパイプの説明も入れながらたっぷりと演奏を楽しませてくれたが、そのあとが素晴らしい。**Haggis** をその場で切って皆に食べさせてくれた。これがなんと美味で驚いた。うまいうまい。さらに、子供たちはジュースだが、大人は何と極上のシャンペンとワインを飲み放題。ほかのグループも入れて50人くらいはいただろうか。**Haggis** パーティーのはじまりはじまり。いい気持になってかなり酔ってしまった。妻に「引率者でしょ」と脇腹をこづかれ、はっと気を取り直してダイニングホールへ。

夕食でもさらにたっぷりと食べる。今夜は9時からカウントダウンパーティーがあるのであまり食べない方がいいのではと思っていたが、先ほどのワインが食前酒となって胃袋が全開。どうとでもなれと言わんばかりに皆バク食い。生徒の家族とも長い付き合いなので皆家族か親戚の集まりのような感じでワイワイガヤガヤ楽しい夕食となった。

今回の合宿では英語のできる妻と娘がいるので私は気が楽だ。英語はそっちに任せることにして、もっぱら英国料理と酒のお勉強に専念。向こうの家族のお父さんも酒好きなのでサイコー。酒の話で盛り上がる。

さて、いよいよカウントダウンパーティーがパブで始まった。何と100人以上いるだろうか。小学生から中高大学生、それに一般の泊り客も皆集まってきた。ネイティブのスタッフたちも総動員、というより今日はここでは我々と同じ呑み仲間だ。古いも若きも女性も男性もスタッフも客もごったまぜのドンチャン騒ぎ。全員で英語の歌も歌った。さらに、各グループにマイクが渡り英語で自己紹介する場面もあり、私のところでは引率者として私にマイクが差し出されたので、酔った勢いで、アイアム ア ジュウドーマスターとかなんとか言いたい放題。あとで妻に聞いたら、メチャクチャ英語ですごかったと大笑いされた。

いよいよあと30秒で新年を迎えるときには、全員にクラッカーが配られ、一斉に、スリー、ツー、ワン、ハッピーニューイヤー、パンパンパンパン、ワオー。英語と日本語が混じって何が何だかわからない凄まじい雄叫び。火薬のにおいが充満する。ハグするスタッフ。踊り出すスタッフ。お客たちも大興奮。そのまま外に出よう促されると、夜空は満天の星。と思うや突然上からドーンと花火の音が。すごいすごい。ディズニーランドの花火は何回か見たが、あれ以上の迫力。結構長く続き、上を向いているのがしんどくなったほど。やっと終了して各自家路へ。もっとも塾生たちは午後11時ころに眠くなって部屋に戻ったので残念ながらカウントダウンの瞬間は楽しめなかったが。思うにこれは大人のイベントと言っていいだろう。

1月1日(金) 朝から天気が良くて気持ちがいい。朝食はリフレクトリーで特別メニューのバイキング。昨日あれほど飲んだり食べたりしたのに罪だなあとと思うが、腹ペコで大盛り。デザートもたっぷり。

さて、今日の午前中はスコーン作りの英語レッスンがある。大人たちも見学しようと一緒に教室へ。と、思いきやスタッフのイケメン教師が皆でやりましょうとおっしゃる。てなわけで全員がエプロン姿になってスコーン作りとなった。これはこれで何回やっても面白い。英語の説明をよく聞いていないとちゃんとしたものができないから皆真剣。一人で全部の工程をやらなければならないから隣に手伝ってもらおう訳にもいかないし、手伝うこともできない。これは効果的なレッスンだ。できあがったスコーンはお土産になる。

いよいよ合宿も終了に近づく。昼食を食べた後、全員で記念撮影とショッピング。昨夜、英語で買い物も経験したし、スタッフとの会話も10回以上はこなしてサインをもらい、記念品をもらって塾生たちも大満足。

送迎バスから手をふりながら、面白かった、また来たいね、と皆笑顔だった。新白河駅で解散。無事終了。お疲れ様でした。誰が？

以上

